

# 資源管理効果向上調査のサメ被害実態調査について

令和4年8月24日 水産技術開発センター

令和4年8月17日から8月20日にかけて、種子島東沖の田之脇曾根周辺にてサメ被害実態調査を実施しました。

本調査はマチ類広域資源管理により取り組まれている保護区周辺におけるイタチザメ等のサメ類の生態を明らかにするために、漁業調査船「くろしお」により実施しています。

今回の調査にて、全長1.3～2.8m（体重90～240kg）のイタチザメ9尾（うち小型魚3尾を標識放流）を漁獲しました。調査結果については、今後、関係漁業者等に報告する予定です。



延縄投入の様子



イタチザメ漁獲の様子



漁獲したイタチザメ



イタチザメ（全長2.1m, 体重90kg）